

離島からの工夫を凝らした配送による県内消費地の拡大 (五島漁業協同組合)

五島漁協では、離島という立地条件や市場情報の欠如、そして嵩む物流費に影響され価格競争力が弱いことが課題となっていました。

そこで、長崎県内の学校給食事業へ加工品を供給するために、五島市内の給食会へ向けられる学校給食配達トラックの「帰り便」を利用することで、配送コストの削減による効率的な配送を実現しています。島外市場には五島と長崎を結ぶ航空路を運営するオリエンタルエアブリッジ(株)や離島貨物を扱う長崎国際航空貨物ターミナル(株)(NIACT)の協力を得て、県内消費地への特別運賃が適用され、長崎市内の病院や学校へ納品が可能となりました。また、その流れの中でNIACTが自衛隊入札資格を取得したことにより、自衛隊の給食食材としての供給も可能となりました。

これら2つの新しい流通ルートの開拓により、「輸送コストが嵩む」「実需者のニーズをリアルタイムに把握した商品開発が遅れがちになる」という離島ハンディーの克服を図っています。

